

# 岡山大学教育学部附属教育実践総合センター

## 平成 18 年度の活動状況の概要

所在地：

住所 〒700-8530 岡山市津島中 3-1-1 (津島)  
〒703-8281 岡山市東山 2-17-4 (東山ランチ)  
電話/FAX 086-251-7728 (津島)  
URL <http://ed-www.ed.okayama-u.ac.jp/~rdcenter/index.html>

構成員：(平成 18 年 1 月 31 日現在)

センター長 (併) 教授 眞 田 敏 [kabasan@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:kabasan@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7734  
専任教員  
教育実地部門 教授 有吉英樹 [arico@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:arico@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7733  
助教授 黒崎東洋郎 [kurosaki@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:kurosaki@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7732  
教育臨床部門 教授 山本力 [tsutomu@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:tsutomu@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7744  
助教授 塚本千秋 [tsukamo@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:tsukamo@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7742  
教育情報部門 教授 山口晴久 [hyamagut@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:hyamagut@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7727  
講師 笠井俊信 [kasai@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:kasai@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7643  
事務補佐員 (津島) 中田香織 [rdcenter@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:rdcenter@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-251-7728  
(東山) 鈴木陽介 [higasi@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:higasi@cc.okayama-u.ac.jp), TEL086-273-8127

### 1. 学内での年間活動状況

#### a) センター主催・共催の研究会・研修会

##### ①教育実践総合センター夏期研修講座 (岡山大学教育学部・岡山県教育委員会の共催)

開催日：平成 18 年 8 月 21 日 (月) 10:00~15:30

場 所：岡山大学自然科学棟

対 象：現職教員，教育委員会，大学・附属学校教員，学生

<午前>

基調講演：「発達障害をもつ児童生徒の理解と支援」(参加者 300 名)

講 師：中国学園大学・子ども学部教授 荻野竜也 先生

<午後>

分科会：A 教育実地部門 テーマ：「ことばの力を育成する新しい教科指導の在り方」

分科会①「小学校「英語」と中・高の英語指導の課題と展望」(57 名)

・小学校 岡山市立岡山中央小学校 柏野恵理子 ・中学校 倉敷市立多津美中学校 詫間知徳

・高等学校 県立玉島高等学校 竹野純一郎

分科会②「読解力・コミュニケーション力を重視した教科指導」(173 名)

・小学校社会 岡山大学附属小学校 池田清美

・小学校算数・数学 奈良女子大附属小学校 太田 誠

・中学校理科 広島大学附属東雲中学校 鹿江宏明

・高等学校国語 県立倉敷育陵高等学校 槇野滋子

B 教育臨床部門

シンポジウム「学校における発達障害児の支援をめぐって」(380 名)

C 教育情報部門 「豊かな心を育てる ICT 活用授業」(23 名)

②学校教員インターンシップ協議会（予定）

テーマ：「学校現場を通して身につける教師力量」

開催日：平成19年3月19日（月）

対象：現職教員，教育委員会，大学・附属学校教員，学生

（備考 参加者：平成17年度3月18日（金）実績、121名）

b) 附属学校園との共同研究プロジェクト等

<教育実地部門>

①教育実習カリキュラムの分析と評価

教育実習コアカリキュラム策定のための教育実習カリキュラムの分析と評価，3年計画の3年次計画（中期目標），毎月1回の定例会議、本年度は附属教育実習に関する学生評価のウェブ入力システムの構築、実施。

②ボランティア実習策定のためのプロジェクト

日常的なボランティア活動を制度化するため、3年計画（中期目標）の3年次計画。

③附属教育実習の企画・運営

④小学校教員資格認定試験1・2次試験の実施、第3次試験問題の作成、及び企画・運営・実施。

⑤附属小・中学校との実践的な教科指導（「算数・数学」）に関する共同研究。

附属小・中学校、教育実践総合センター、数学教育講座の3者による「算数・数学の学力診断プロジェクト計画」の企画・運営・実施。

<教育臨床部門>

附属中学校へのスクールサポーター派遣と側面支援

<教育情報部門>

附属小学校メディア情報科の研究授業及びその学習指導案作成に関する指導・支援

c) センター専任教員の学部・大学院教育への参画状況

①教育実地部門

<教養教育>

教養教育科目；●教育権と教育制度

<学部>

●小学校教育実習基礎研究●中学校教育実習基礎研究●養護実習基礎研究●幼稚園実習基礎研究●障害児教育実習基礎研究●他学部基礎研究●教育実習事前・事後指導●総合演習●算数授業研究●プロジェクト科目；学校教育実践A,B●卒論ゼミ 16名

<大学院>

●学校教育政策特論●学校教育政策特論演習●教育制度特論Ⅰ●教育制度特論Ⅰ演習●授業実践研究特論●授業実践研究演習●授業設計・分析特論●授業設計・分析演習●修論ゼミ 3名

②教育臨床部門

<学部>

●喪失と悲哀の心理臨床学（教養教育）●生徒指導論Ⅱ●生徒指導論Ⅲ●教育相談論B●生涯発達とカウンセリング●精神衛生概論●卒論ゼミ 4名

<大学院>

●精神医学特論●教育相談特論●教育臨床心理応用実習Ⅰ●教育臨床心理応用実習Ⅱ●修論ゼミ 8名

<連合大学院・博士課程>

●学校教育臨床特論

<修士課程修了生（約30名）の臨床実習指導>

●ケース会議・スーパービジョン・資格試験講座等の支援

③教育情報部門

<学部>

●情報科学概論●情報教育実習●情報通信ネットワーク論●情報処理演習●情報処理入門●メディア活用論●プレゼンテーションの設計と評価●卒論ゼミ●視聴覚教育メディア論 9名

<大学院>

●学習内容開発特論Ⅱ●技術内容学特論Ⅶ●技術内容学特論Ⅷ●技術教育学特論Ⅰ●技術教育学特論演習●情報教育学特論Ⅰ●教育ネットワーク特論●教育ネットワーク特論演習●修論ゼミ 3名

d) その他

なし

3. 対外的な教育・研究活動状況

a) 都道府県／市町村／公立学校との協同事業による研究会・研修会

1) 教育実地部門

ア. 文科省「コミュニティースクール推進フォーラム」基調報告、パネラー、「犯罪のない安心・安全岡山県づくり検討委員会」座長、識字教室「青春学校」世話人、岡山県人権・同和教育研究会講演

イ. 全国数学教育学会理事、日本数学教育学会編集部幹事、岡山大学算数・数学教育学会会長、数学オリンピック岡山会場世話人、岡山算数教育実践研究会代表、教科書編集委員、岡山県教育委員会学力向上プロジェクト委員、福山市学力向上プロジェクト委員、岡山市立小・中学校評議員、岡山県内外学力形成拠点事業推進校への授業力向上支援

2) 教育臨床部門

ア. 県教育委員会（指導課）との連携：岡山県スクールカウンセリング・コーディネーター

イ. 県教育委員会（福利課）との連携

①健康診断審査会メンタルヘルス部会

②教職員サポート相談（面接相談は週1回、現職教員25名、延べ80回・メール相談は随時、現職教員17名、延べ117通）

③管理職カウンセリング相談事業（校長等5名）

④管理職メンタルヘルス研修会（年2回：7月・11月）

⑤人事担当者研修会（11月）

ウ. 県教育委員会（生涯学習課）との連携

①「子どもホットライン」に係わる包括的支援

子どもホットライン調査研究委員会・委員長

エ. 県警察の被害者カウンセリング・アドバイザーとしての活動

オ. 岡山県スクーリングサポートネットワーク（SSN）事業の評価委員

カ. 地域SSCへの訪問支援活動（年15回）

キ. 県男女共同参画推進センター（ウィズセンター）の相談員の支援

ク. 県健康対策課・ひきこもり脱出支援事業への協力

ケ. 岡山市教育委員会「教育委員」としての活動

3) 教育情報部門

・岡山県情報教育センターとの連携プロジェクト1：3県連携IT交流事業

・岡山県情報教育センターとの連携プロジェクト2：ミレニアム授業推進プロジェクト

- b) 臨床部門の公立学校へのカウンセリング・コンサルテーション
- b) 教育臨床部門専任教員による公立学校等へのカウンセリング/コンサルテーション活動状況
  - 1) 心理教育相談室の運営と臨床活動
    - ア. 年間約60ケースの受理と550時間の面接
    - イ. ケースカンファランス(週1回) 年間35回
    - ウ. ケースセミナー(月1回)の開催 年間10回
    - エ. 相談員の個別スーパービジョン
    - オ. 心理教育相談室運営委員会 年間2回
    - カ. 心理教育相談室紀要『心理・教育臨床の実践研究』(4号)の編集と発行
  - 2) 岡山県の県立高等学校での精神科校医活動 6回, 約20件

#### 4. 外部資金導入状況

- a) センター専任教員が研究代表の科研費受給状況
  - ・若手研究(B)・「オントロジーを基盤とした情報教育の授業設計支援システムに関する研究」・3,500,000円・平成18年度～平成20年度
  - ・基盤研究(B)・「オントロジー理論に基づく教師教育マルチエージェントシステムの開発」・13,500,000円・平成17年度～平成19年度
- b) センター専任教員あるいはセンターとして受給した学内科研
  - 1) 学長裁量経費  
「岡山県教育委員会との連携事業」, 1,000,000円, 平成18年度
  - 2) 学部長裁量経費  
「教育実習カリキュラムの分析・評価」, 200,000円, 平成18年度  
「算数・数学学力診断調査研究」, 500,000円, 平成18年度
- c) センター専任教員あるいはセンターとして受給した外部資金導入
  - ・岡山県公立学校共済組合・教職員サポート相談, 500,000円, 平成18年度
- d) センター(専任教員)が他のセンター(専任教員)と連携して申請した科研費受給状況  
なし

#### 5. 将来構想

今後のセンターの有り様については学部・大学院の改組と関連して検討中。

##### <教育実地部門>

教育学部と附属・岡山県教育委員会・学校教育現場との連携協力を推進する有機的かつ中核的な役割を果たすことを目指す。

##### <教育臨床部門>

臨床部門と教育学研究科(心理臨床系)の教員スタッフが積極的に連携しながら臨床活動の基地として動ける体制づくりを行っている。

##### <教育情報部門>

今後とも岡山県、岡山県教育委員会、県下の小中高等学校、附属学校との連携を継続して教育情報を通じて社会貢献するつもりである。